

■ 概要

選考結果	採択
団体名	一般社団法人子どもソーシャルワークセンターつばさ
代表者名	紀 奈那
申請事業名 主題	一時シェルター事業
申請事業名 副題	10代の若者のための居場所確保事業
エリア／テーマ	【岡山県】DV や虐待、生活困窮等による緊急避難のための住居・居場所の確保支援
解決すべき社会課題	① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
申請事業の概要	<p>シェルター開設のために、以下の3点を実施する。</p> <p>1.中高生へのニーズ調査(ヒアリング)</p> <p>利用者(10代の子供達)のニーズに沿った機能をもつシェルター開設を目的とし、10代の子供達が必要としている支援や居場所についてヒアリングを実施する。</p> <p>2.ボランティアスタッフの確保</p> <p>シェルターの夜間宿泊スタッフなど、利用者とコミュニケーションをとり、ニーズ把握や相談にのるためのボランティアスタッフを募集する。ボランティア確保に向けた募集説明会の実施及び育成のための研修会を実施する。</p> <p>3.寄付者募集</p> <p>チャリティーショップ運営の為に寄付物品を募集する。リーフレットを作成し、物品寄付者募集の為に広報活動を行う。</p>
事業実施地域	岡山県
申請事業期間	2021年7月～2021年12月
申請助成額	30,000,000円 【内訳】直接事業費 29,700,000円、管理的経費 300,000円

■ 審査コメント

- ✓ 学生発の活動が元になりそれが現在も続いている点は素晴らしいので応援したい。一方で、抱えるリスクが大きすぎないかという点が気がりである。
- ✓ 若者だからアプローチできることもある。評価はするが、準公金を扱うので、部門管理などもきちんとできることが求められる。現在の事業規模と比較するとずいぶん額も大きいため、その点が気がりである。ハードの運用や、物件取得や改修にあたり、例えば借入れをすることなどに十分責任を負えるかという点に不安がある。
- ✓ 若者向けシェルターという点は評価はする。しかし、一時避難所をすること自体は申請書から読み取れるが、それ以外について、不動産を取得してどのように事業をされるのかが伝

わってこなかった。

- ✓ ヤングケアラーの問題が可視化されない中で、解決困難な状況がある。何らかの取組があるといいなと思っていたところへ、この申請が出てきた。内容にも共感でき、その点を評価している。
- ✓ ニーズ調査をきちんとしながら、若い人の思いを客観的に見出せると良いなと思う。
- ✓ 思いが先走っている様子が計画書から見てとれ、本来なら慎重に考え、安定した規模をもって取り組む事業が採択されるべきとも思う。しかし休眠預金の主旨を踏まえて、「チャレンジ枠」としての採択を検討したい。
- ✓ 事務局の伴走が必要と思う。事務局（岡山 NPO センター）が支援するなら、採択を検討したい。
- ✓ 可能なら休眠預金以外の、団体に適切なサイズの助成金をとってもらうなどして、岡山 NPO センターとしてかかわりをもっていただきたいと思う。そこを通じた成長に期待したい。
- ✓ 小規模な額なら、問題なく活動されている印象は受けている。継続して取り組んでいるところを買いたい気持ちはある。「若い人にもチャンスを」というところにかけてみたい。